

心のバネ

福島市立野田中学校の生徒の皆さん、今日から新たな学校生活が始まりました。皆さんは、どんなことを考えながら登校してきましたか。

1年生は127名の新入生の一人として、りっぱに入学式に臨（のぞ）みました。皆さんの「ハイ」という返事からは、これから始まる中学校生活への強い決意が感じられました。

119名の2年生は、新しい学級での生活が始まります。自分の所属する集団が変わるのはチャンスでもあります。1年生での生活を振り返り、「2年生になったら」「今年こそは」という目標や決意をぜひ行動に移してください。

3年生は136名です。その一人ひとりが、1年後には、この校舎から大きく羽ばたくこととなります。この1年は、今まで以上に見通しをもつこと、計画を立てることが重要になってきます。

382名の生徒の皆さん一人ひとりに期待していることがあります。それは、中学生の間に「心のバネ」を備（そな）えてほしいということです。バネは、押されても戻ります。それも勢いよく戻ります。何度でも何度でも戻ります。決して壊（こわ）れることはありません。

心のバネは、嫌（いや）なことがあったり、失敗したりしても、元気を取り戻し、前へ進もうとする力を与えてくれます。中学校だけでなく、これから生きていく中では、必ず思い通りにいかなかったり、落ち込んだりすることがあります。そんなとき、心のバネを持っていれば、前へ前へと進んでいくことができます。

中学校生活の中で、いろいろなことに挑戦したり、努力を重ねたりすること、悔（くや）しい思いをすること、辛（つら）い経験をする中で、心のバネは備わっていきます。中学校生活も、これからの人生も、楽しいことばかりではありません。くじけそうになることもあるでしょう。悲しいことも起（お）こるでしょう。それでも、心のバネがあれば大丈夫です。

この野田中学校は、382名の生徒の皆さんが、心のバネを持つための大切な場所となります。皆さんは、決（けっ）して一人ではありません。苦しいときには、まわりに同級生や先生方がいます。ときには部活動の先輩が助けてくれることもあるでしょう。皆さんがもっている「思いやり」の心が、きっと互いを救（すく）ってくれるはずです。

この「校長通信」は、週に1回、皆さんに読んでもらうようにします。では、明日から382人の力で新たな野田中学校をつくっていきましょう。